様式第１号は訂正不可です。誤記入した場合は書き直してください（修正ペンやテープ等も不可です）

記載例
（ブラッシュアップ枠）

別記様式第１号（第６条関係）

申請受付期間内の日付を記載してください

令和〇年〇月〇日

近江八幡市長　宛

申請者　住　　所　近江八幡市××町××
名　　称　△△商店
代表者名　〇〇　〇〇　　（自署又は記名押印）　印

近江八幡市体験型事業創

ご印鑑について
法人の方→会社の代表社印（会社印ではない）
個人の方→代表者の私印（シャチハタ等不可）
代表者名を自署いただく場合押印は不要です。

近江八幡市体験型事業創出事業を下記の
事業創出事業補助金交付要綱第６条の規定

記

１　事　　業　　名　　〇〇〇〇〇体験型事業

２　補助金交付申請額　金　300,000　円（千円未満は切捨て）

３　申請枠等　　☐一般枠　　☐地域資源枠
☐新規創業枠　　☐地域資源・新規創業併用枠
☑ブラッシュアップ枠　　☐加算要件

該当する枠にチェックをしてください。
加算要件を適用される場合は、そちらにもチェックをしてください。

期間　　令和５年８月１０日から令和５年１０月３１日まで

近江八幡市体験型事業創出事業補助金事　　書（別記様式第２号）のとおり

申請される次期（第〇次）に応じた補助対象期間内の日付を記載してください

別記様式第２号（第６条関係）

令和〇年〇月〇日

近江八幡市体験型事業創出事業補助金事業計画書

■基本情報

事業者名（屋号）	YOUR DAILY COFFEE	事業名	OUTDOOR TRIP COFFEE
所在地	近江八幡市××町××		
代表者名／役職	〇〇　〇〇　（　　）	電話番号	0748－〇〇－〇〇
体験型事業に従事する従業員数	２名	資本金（法人のみ）	
ＳＮＳアカウント①	△△△（instagram）	ＳＮＳアカウント②	◆◆◆（YouTube）
ホームページ URL	https://**********		

■事業スケジュール

年度	第１次				第２次				第３次			
概要	８月	９月	１０月	１１月	１０月	１１月	１２月	１月	１２月	１月	２月	３月
店舗改装工事	←→											
備品調達期間	←→	←→										
事業周知	←→	←→	←→									
プレ実施			←→									
事業スタート				OPEN								

申請時期（第〇次）に応じた期間について、備品調達や店舗の改修工事等、交付決定から補助対象期間終了後（事業スタート）までのスケジュールについて記載ください。

上記「事業スケジュール」の開始時期を起点に、１年間の資金計画を記載ください。（本例の場合、１年目は令和５年８月～令和６年７月となります。）
また、<u>申請される体験型事業についてのみ</u>の資金計画を記載してください。

■資金計画（概要）

	１年目		
売上高（①）	２，４００千円	２，８００千円	３，２００千円
売上原価（②）	４８０千円	５７０千円	６４０千円
経費（③）	２，５００千円	１，３００千円	１，３００千円
損益合計（①－②－③）	△５８０千円	９３０千円	１，２６０千円

■事業内容

事業概要	究極の一杯を探す旅「OUTDOOR TRIP COFFEE」 30 字以内で端的に記載してください。
コンセプト	さざなみに浮かぶ穏やかな島「沖島」を、自分で淹れたオリジナルのコーヒーと共に楽しんでいただきます。 気づきの時間を提供することが目的の「OUTDOOR TRIP COFFEE」湖岸のテラスで、貴重な国産、各国のコーヒー豆とブレンド方法をご用意、３種類の淹れ方からご自分の好みの味の淹れ方を探求頂いています。今回の上級者コースでは、コーヒー豆の焙煎から行い火の違いから比べて頂く「OUTDOOR TRIP COFFEE」。野外で楽しむコーヒー時間を提案いたします。コーヒー好きだけではなく、たくさんの方に味の違いを探求してほしい想いで、なるべく再現性の高さにもこだわりました。お客様の究極の一杯を探す旅のアテンドをいたします！
提案事業によって市内でコト消費が創出される理由	近江八幡市でありながら、まだまだ知られていない沖島。YOUR DAILY COFFEE では体験型事業を通じて、沖島の魅力発信基地となります。静かな時間の流れの中、淹れたてのオリジナルコーヒーを楽しむ事で、ここでしか体験できない気づきが見つかるかもしれません。「コーヒーを淹れるこだわりの時間」今回は生豆を焙煎する事で更なるオリジナルのコーヒーの味を探求します。火に向かう時間で日常を一度リセット！訪れて良かったと心から思える上質な滞在時間こそが YOUR DAILY COFFEE が考える価値（コト消費）です。
事業提案に至った背景及び市場分析	ゆっくりとした時間を過ごしながらコーヒーを味わえたら、来訪者のニーズに合致するのではないかと考え「OUTDOOR TRIP COFFEE」事業の提案に至りました。今回の「OUTDOOR TRIP COFFEE」コースでは更にコーヒーを探求し一杯の自分のコーヒーの為に時間を費やします。国内におけるコーヒー市場規模、アウトドア市場規模は拡大している為、野外でのコーヒーは必然になる事が予想されます。 現在、焙煎から体験させる事業者は少なく、滋賀県では競合不在です。

●商品・サービス ・「OUTDOOR TRIP COFFEE」 野外で楽しむサバイバルコーヒー～焙煎から行う究極の一杯	●顧客・ターゲット ・20 代～40 代　コーヒー好き ・メイン…キャンプやアウトドア志向 ・サブ…サードプレイスを求める方
●単価・価格設定 ・「OUTDOOR TRIP COFFEE」…5,000 円	●体験時間及び開催頻度 ・金～月（9 時～18 時）事前予約不要 ・OUTDOOR TRIP COFFEE　2 時間
●1 月当たりの集客予想【(稼働日数) ×（平均客数)】 ・5,000 円×16 日×3 人（48 人）	●提案事業によって本市に還元される二次的な事業効果 ・沖島への来訪者が増加することで、新たに別事業者が創出される効果が見出せます。他の事業が創出されることで、更なる地域の活性化が見込まれます。
●体験型事業実施場所 ・沖島の湖岸のカフェ「YOUR DAILY COFFEE」内外	●事業周知方法 ・HP/SNS（Instagram・YouTube） ・プレスリリース、雑誌・情報誌・メディアへの情報営業

■リスクと解決策

想定されるリスク	（1）天候不良
対処方法	（1）テラス改装により、雨や風でも屋外で体験可能

提案される体験型事業の詳細がわかるように、他社の事例等も踏まえ、商品やターゲット、販売予定単価等を具体的に記載ください。

■体験型事業工程表

開催日	金・土・日・月		
定員	１回４名まで可能（1 日 2 回まで）	最少履行人数	２名

時間	内容	備考
０：００～	「OUTDOOR TRIP COFFEE」ガス火と直火の飲みくらべ体験 ・店舗到着～ ・申込予約の確認	「OUTDOOR TRIP COFFEE」 3 名様分ご予約 5000 円×3＝15000 円
０：０５～	豆の基本講座 豆の選定 流れの説明	
０：２０～	「OUTDOOR TRIP COFFEE」 ①テラスにて焚火の準備 ②焙煎 （直火、ガス火）	
１：００～	③出来上がりの豆を各々観察 ④豆を挽く作業 （手動、電動）	
１：３０～	⑤コーヒーを淹れる	
１：４５～	⑥飲みくらべながらコーヒー時間をお楽しみください	
２：００～	オプションでポット等レンタルも可　～沖島を散策ください～ （ポット 500 円・ランチボックス 2000 円×３・チェア 500 円×３・日傘 500）	ポット 500 円 ランチボックス 6,000 円 チェア 1,500 円 日傘 500 円

提案される体験型事業の全体工程がわかるように、商品やターゲット、販売予定単価等を具体的に記載ください。

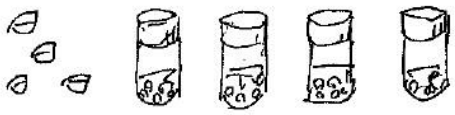
■事業概要図

事業者名（屋号）	YOUR DAILY COFFEE	業種	カフェ

究極の一杯を探す旅

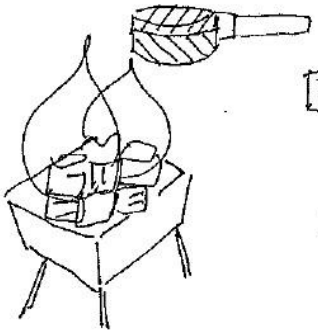
「OUT DOOR TRIP coffee」

STEP ①

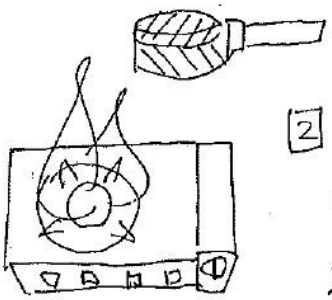


4種類の生豆から
お好みの1種を選びます。

STEP ②　2種類の熱源で焙煎します。



1 テラスに出て
たき火の炎で焙煎
20分～30分



2 カセットコンロにて
ガス火の炎で焙煎
20分～30分

STEP ③

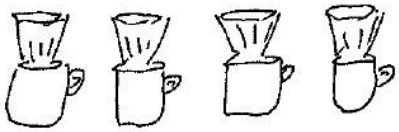
2種類の挽き方で
豆を挽きます。

1 手動にて

2 電動にて

STEP ④

4種類の味が
でき上がります!!



のみくらべ
いたしましょう

事業の全体像を図示等で記載してください。

■地域資源（地域資源枠又は地域資源・新規創業併用枠で申請する場合のみ作成してください）

体験型事業で 使用する地域資源①	
区分	
体験 使用	
区分	
体験 使用	
区分	
上記 地域	
提案	

ブラッシュアップ枠の場合は
作成不要

■ブラッシュアップ（ブラッシュアップ枠で申請する場合のみ作成してください）

ブラッシュアップの内容
究極の一杯を探す旅「OUTDOOR TRIP COFFEE」 今までの体験型事業は、バリスタが淹れたコーヒーを飲み比べるという内容で、価格は 2,000 円で、週 3,4 回程度開催していました。 主な客層としては、20 代～40 代の都市部で働いている方で、コーヒーを片手にゆったりとした時間を過ごしていただいていました。 今回の体験型事業では、今までの飲み飲み比べ体験では物足りなくなった方や屋外など環境を変えてコーヒーを楽しみたい方、サードプレイスを求める方に向け、「自分でコーヒー豆を焙煎して、究極のコーヒーの味を更に探求してほしい」という思いで作りました。 ポイントは２点、 ①自分で生豆の選別をして直火とガス火の２種類の熱源で焙煎すること ②焙煎した２種類の豆を、手動と自動の２種類の方法で挽くこと 　最後には選んだ豆が４種類のフレーバーとなり出来上がります。 　「１種類の豆からできた４種類の味を飲みくらべます。」 オプションでは、ポットを用意しておりますので、ご自身で作ったコーヒーを入れ、沖島の散策に出かけても OK ・チェアやマット、ポット、日傘、雨具などのレンタル ・島のビューポイントやのんびりポイントを記したマップ ・ご要望に合わせてランチボックスもご用意 今回のブラッシュアップで、近年増加しているアウトドア好きの層を新たに取り込むことをねらいとしています。 2020 年度の国内アウトドア用品・施設・レンタル市場は〇〇円→2024 年の市場規模見込 〇〇円（2020 年度比〇〇%）になるとの予想（〇〇調べ）されており、アウトドア業界自体が盛り上がりを見せています。また、従来は男性のイメージが強かったアウトドアの需要が、グッズの充実等により、女性や若年層の支持率も高くなっています。 コーヒーは手軽に作ることができるため、アウトドア空間でも需要は高く、そのような層を取り込みことで、参加者数の増加につなげていきます。

ブラッシュアップ前後の違い（変更点）やブラッシュアップを行うねらい（目的）、参加者数・収益が増加する見込みである根拠などを記載してください。

体験型事業への参加者数は、比較しやすい単位や期間で記載ください。
（単位）〇人、〇組　など
（期間）１日、１週間、１か月　など

体験型事業への参加者数			
現在	１００人（１か月）	ブラッシュアップ後（見込み）	１２０人（１か月）

別記様式第３号（第６条関係）

誓約書

私は、近江八幡市体験型事業創出事業補助金の交付申請に当たり、下記の事項について誓約し、同意し、及び承諾します。

記

1　近江八幡市体験型事業創出事業補助金交付要綱（以下「要綱」という。）に基づき、虚偽なく申請いたします。

2　申請日時点の市税について、滞納はありません。

3　要綱第１５条各号に掲げる規定に該当するに至った場合は、要綱第１６条及び近江八幡市補助金交付規則に従い、既に交付された補助金を返還します。

4　申請書類等に記載された情報を税務情報として使用することに同意します。

5　近江八幡市が保有する次に掲げる私に関する個人情報を、補助金の交付対象者に該当すること等の確認のため、補助金交付事務の担当者が閲覧することに同意します。

⑴　氏名、住所その他属性に関する情報

⑵　市税の申告及び納付状況に関する情報

6　申請者名、事業名、事業概要及び補助金交付決定額について、市のホームページ等で公表することに同意します。

7　近江八幡市が補助金交付の完了検査のため補助対象事業に無償で参加することに協力します。

8　私及び世帯員（役員）は、次の各号のいずれにも該当しません。また、近江八幡市が必要と認める場合には、近江八幡警察署に照会することについて承諾します。

⑴　暴力団

⑵　暴力団員

⑶　自己若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用している者

⑷　暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど、直接的若しくは積極的に暴力団の維持及び運営に協力し、又は関与している者

⑸　暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者

⑹　前各号のいずれかに該当する者であることを知りながら、これを不当に利用するなどしている者

令和〇年〇月〇日

近江八幡市長　宛

住　　所	〒　〇〇〇－〇〇〇〇 近江八幡市××町××		
法 人 名 （法人のみ）			
代表者役職 （法人のみ）		フリガナ	〇〇　〇〇
		代表者氏名	〇〇　〇〇　印 （署名又は記名押印）
性　別	男　・　女	生年月日	昭和〇〇年　〇〇月　〇〇日

様式第１号に押印したものと同じご印鑑を使用してください。
代表者氏名を自署いただく場合押印は不要です。

別記様式第４号（第６条関係）

令和〇年〇月〇日

近江八幡市体験型事業創出事業補助金収支予算書

収入の部　（単位：円）

費目	金額
自己資金	512,700
補助金	300,000
借入金	
その他	
合計	812,700

支出の部（補助対象経費）

費目	金額	改め
報償費	0	0
需用費	101,500	101,500
備品購入費	191,200	191,200
広告料	200,000	200,000
印刷製本費	10,000	10,000
外注費	10,000	10,000
負担金（ブラッシュアップ枠のみ）	0	0
使用料及び賃借料	0	0
通信運搬費	0	0
物件改装費	300,000	270,900
その他経費	0	0
合計	812,700	783,600

支出の部（補助対象外経費）

費目	詳細	金額
物件購入費／家賃		
車両購入費		
人件費		
合計		0

別記様式第４号（第６条関係）

令和〇年〇月〇日

近江八幡市体験型事業創出事業補助金収支予算書

（単位：円）

費目	詳細	数量	金額
備品購入費	電動グラインダー	4	31,200
備品購入費	手動ミル	4	14,000
広告料	SNS広告費用	1	200,000
印刷製本費	ダイレクトメッセージ印刷費（1,000枚）	1	10,000
外注費	ダイレクトメッセージデザイン費	1	10,000
物件改装費	防風壁設置工事費	1	300,000
需用費	コーヒーカップ	16	8,000
備品購入費	焚き火台	2	50,000
備品購入費	火ばさみ	2	5,000
備品購入費	耐火グローブ	4	10,000
備品購入費	直火用ケトル	2	24,000
需用費	炭	1	10,000
需用費	着火剤	2	3,000
需用費	防火シート	4	4,000
備品購入費	火吹き棒	2	3,000
備品購入費	カセットガスコンロ	4	16,000
備品購入費	ザル	4	10,000
備品購入費	うちわ	4	4,000
需用費	生豆	4	40,000
需用費	持ち帰り用缶	100	20,000
需用費	持ち帰り用袋	100	1,500
備品購入費	トレー	16	16,000
備品購入費	簡易テーブル	1	8,000
需用費	カセットボンベ	1	3,800
需用費	コーヒードリッパー	16	11,200

※補助対象経費のみ記載すること。

※単価３万円以上の経費には、見積書等の積算根拠資料を添付すること。

　また、単価１０万円以上の経費には、見積書等の積算根拠資料を３種類以上添付すること。

※必要に応じて行を追加・削除し作成すること。